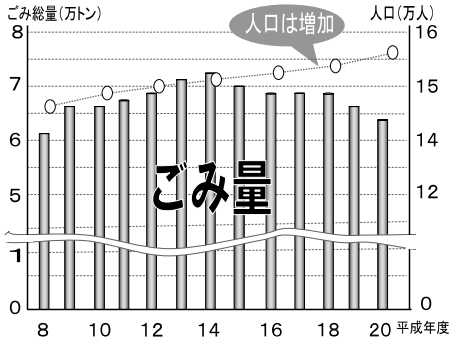


発行：ひたちなか市の環境を良くする会  
 編集：広報委員会  
 事務局：ひたちなか市環境保全課内  
 住所：〒312-8501 ひたちなか市東石川 2-10-1  
 TEL：029-273-0111 内線 3312, 3313  
 FAX：029-272-2435  
 E-MAIL：kankyo@city.hitachinaka.l(IL)g.jp

# 環境から版



ごみの量は、平成14年度の72,841トンをピークに、20年度の64,986トンに減量されています。

## ひたちなか市の人口の増加とごみの量

「ひたちなか市の環境を良くする会」の分科会の一つである「ごみ問題分科会」では、ごみ減量化の啓発活動の一つとして『ごみの減量』をテーマにした標語を7月25日から8月31日の期間に募集しました。

応募は市内小学生367名から428作品、中学生223名から227作品、一般の方22名から42

## ごみの減量

### 募集標語の各賞決まる

3賞9作品 応募総数 697作品

「ひたちなか市の環境を良くする会」主催の「ごみの減量」標語コンクールが開催されました。「ごみの減量」への関心の高さを反映し、応募総数697作品から「最優秀賞」「優秀賞」「ユニーク賞」の3部門9作品を選考しました。

作品の応募がありました。それぞれの作品は特徴のある作品ばかりでした。ごみ問題分科会のメンバー各々が優秀作品を選考し、9月24日に分科会で受賞作品を審査・決定しました。

受賞作品は11月7日(土)、8日(日)に市総合体育館で開催された「第16回みんなの消費生活展」にて展示発表しました。

なお、受賞作品の表彰と記念品の贈呈は、平成22年1月30日(土)にワークプラザ勝田にて開催される「環境シンポジウム」にて行う予定です。

他の分科会の標語募集も良い

渡辺会長は「温暖化防止分科会、自然環境分科会においても、このような市民参加型の活動を計画・実行出来たら良いですね。」とコメントしていました。

## 各賞の受賞作品

### 最優秀賞

- 分別が できればそれは ゴミじゃない  
(小学生の部 中根小4年 葛貫 優翔くん)
- 分別で ゴミをマイナス 資源はプラス  
(中学生の部 勝田一中2年 関根 稜平くん)
- ごみ減量 生ごみ水切り ひと工夫  
(一般の部 渡辺 早貴さん)

### 優秀賞

- ゴミがゼロ わたしのじまん ひたちなか  
(小学生の部 枝川小5年 久保 美潤さん)
- 贈り物 包装なくても こころあり  
(中学生の部 勝田一中2年 深澤 航くん)
- ゴミは無い あなた次第で 皆資源  
(一般の部 佐々木 研二さん)

### ユニーク賞

- ちょっとそれ まだ使えるよ ごみじゃない  
(小学生の部 勝倉小6年 埴 佳憲くん)
- 減量だ ゴミと一緒に 体重も  
(中学生の部 勝田一中2年 梨田 雄太くん)
- 呆け防止 全てを分けて 再利用  
(一般の部 佐々木 正伸さん)

『ひたちなか市の環境を良くする会』は、市民、民間団体、事業者及び市が互いに協力し、より多くの市民や事業者が、身近な自然や環境を大切にすることを育むとともに、環境保全行動の定着を図るため活動しています。

具体的な活動を計画し実行するのは、ごみ問題、温暖化防止、自然環境の3つの分科会が中心となっています。

より多くの市民や事業者が参加・行動できるような事業を行いたいと張り切っています。

活動のようす  
**温暖化防止分科会**

「実践の2年目」を目標に活動しています。7月に東京ビッグサイトで行われた「エネルギーソリューション&蓄熱フェア09」に13名参加、CO2削減に向けた様々な最先端技術を見学してきました。また、「エコドライブセミナー」(いばらきエコドライブ推進協議会主催・年6回開催)に12名が順次参加しました。参加者は、毎回体感談・情報を報告。分科会は暮らしに役立つ、新しい情報の共有の場になっています。

自分たちが感じた実践の大切さをアピールしたいと、意見交換会で「ミニ・エコドライブ講座」(講師:会員の三澤豊氏)を行い、エコドライブセミナーへの参加も呼びかけました。

もつひとつのテーマは、「フードマイレージから温暖化防止を考える」。分科会提案の環境講座が、12月5日にワークプラザで行われます。まず地元農業生産の現状を知り、地産地消の視点から、私たちの暮らし方・食の選択が、地球の未来とどのように関わっているのかを皆さんと一緒に考えたいと思います。身近な「食」から、即実行の温暖化防止です。「食」は様々な課題満載。「食」温暖化防止」は、来年度も分科会の継続テーマになりそうです。



ミニ・エコドライブ講座

**環境講座を開催します!**

「食と地球温暖化防止 ~ フードマイレージと地産地消 ~」をテーマに、先崎千尋氏(NPO法人有機農業推進協会副理事長)を講師に迎えて環境講座を開催します。  
日 時: 12月5日(土) 9:30~11:45  
会 場: ワークプラザ勝田2階大会議室  
参加費: 無料(先着申込順100名)  
申 込: 電話, FAX, Eメールにて事務局まで(11月27日必着)

活動のようす

**ごみ問題分科会**

「ごみの分別の徹底」と「生ごみの堆肥化」をテーマに活動・話し合いをしています。

生ごみの堆肥化については、市民と事業者が協働して取り組むモデル事業を企画しています。

**資源物収集量の上位5自治会(平成21年度上期)**

| 1世帯あたり排出量(kg) |             |       | 総排出量(kg) |           |         |
|---------------|-------------|-------|----------|-----------|---------|
| 順位            | 自治会名(世帯数)   | 重量    | 順位       | 自治会名(世帯数) | 重量      |
| 1             | 元町(57)      | 244.0 | 1        | 大平(1074)  | 112,762 |
| 2             | 佐和駅前東(79)   | 223.6 | 2        | 六ツ野(889)  | 108,276 |
| 3             | 津田第三(482)   | 189.9 | 3        | 平磯(1390)  | 108,178 |
| 4             | 勝田駅前南(377)  | 187.1 | 4        | 西原(737)   | 98,687  |
| 5             | 東石川一丁目(127) | 174.9 | 5        | 下高場(1013) | 95,115  |
| 1世帯あたりの平均     |             |       | 82自治会の平均 |           |         |
| 103.5         |             |       | 47,905   |           |         |

総排出量(kg) × 8円が各自治会に補助金として交付されています。

ごみの分別の徹底については、イベント・お祭り等での徹底、幼児期からの分別教育、ごみの分別ポスター掲示による啓発、資源回収システムの再考などについて、廃棄物対策課へ提案しました。提案に対する回答をいただきましたが、さらに具体的に内容を検討し、分科会も協力しながら実現化を図っていききたいと思えます。

活動のようす

**自然環境分科会**

上の表に「資源物収集量の上位5自治会」(平成21年度上期、市廃棄物対策課提供資料より)を発表します。すでに分別の徹底に取り組んでいる自治会です。みなさんぜひ見習って、「分ければ資源、混ぜればただのごみ」の考えを毎日意識して生活していきましょう!

7月の定例会では、市河川課長を招き河川管理の現状や課題について話を聞きました。「市内中小河川は氾濫・浸水対策中心で整備してきた。枝川の下江川「水辺の楽校」整備では、親水性、生態系の回復を念頭に行ったが、住民参加等管理運営面では課題がある。また、名平洞の水質改善については、市民も提言や活動を積極的に行ってほしい。」との話がありました。

この後、会員より、横浜市の「和泉川ふるさとの川整備事業」の紹介があり、設計段階から管理運営まで住民参加により行われているとの報告がありました。

9、10月の定例会では、これまでの成果を踏まえ、名平洞の水質改善について何ができるか議論しました。家庭や水辺での具体的な対策について話し合い、今後これらを整理し、行政への提案や市民

参加の取組を行いたいと思っています。さらに10月定例会は、農業の現状と今後について市農政課職員を招き、減反や耕作放棄地の状況、化学肥料・農薬の使用量を低減する有機農業への流れと堆肥の活用などについて勉強しました。

また、多良崎城跡緑地環境保全地域については、地元自治会と協議し、市民参加型の自然観察会と清掃活動を企画しています。

**意見交換会を開催しました**

今年度2回目の全体意見交換会を8月29日(土)に大島コミュニティセンターで開催しました。

ごみ問題分科会からは、「ごみの分別の徹底」と「生ごみの堆肥化」に絞った活動し、ごみ分別の幼児期からの教育、資源・不燃ごみの同時回収などを市に提案したと報告、ごみの分別について分かりやすい資料を作成・配布しては、などの意見が出されました。

温暖化防止分科会からは、「エコドライブセミナー」、「エネルギーソリューション&蓄熱フェア09」への参加、市内農家の生産量だけでは市民の野菜はまかなえない、市民農園は17箇所約200人が家庭菜園として利用していると報告があり、EMぼかしから堆肥を作るミニ講座の提案がありました。

自然環境分科会からは、名平洞

の視察、河川などの管理の現状等について勉強し、名平洞の水質改善に向けた活動をして行きたいと報告がありました。

その後、22年度以降の環境シンポジウムの運営方法等について議論し、「ミニ・エコドライブ講座」を実施し、閉会しました。

**第3回意見交換会を開催します**

日時：12月5日(土)午後1時  
場所：市役所企業合同庁舎2階  
内容：意見交換、ミニ環境講座  
「EMによる生ごみ堆肥化」

**会員紹介**

**未来を担う子供たちとともに**

**津田げんき会**

本会は、「地域の子供たちに明るい未来と豊かな自然を引き継いでいきたい」と願い、今年7年目を迎えた地域ボランティア団体です。

活動のひとつに「自然観察・野鳥観察会」があります。早戸川の水質や水生昆虫・魚・野鳥を観察しながら、子供たちと共に自然を守り環境を良くするために、自分たちができることは何かを考える活動をしています。今年も子供たちと共に親の参加もあり総勢80名で観察会を行いました。

「自分たちのふるさとに流れる川や森、そして生き物に関心を持つ

ことで、親子で自然環境について話し合うことができる。参加者全員が同じ思いを共有することで、地域環境を考えることができる。そんな素敵な「まち」を目指して、これからも私たちは感動の企画をコーディネートしていきます。

**早戸川自然観察会**



水生昆虫の採取



早戸川沿いのごみ拾い

**会員・市民の投稿から**

**台所洗剤不要**

**手づくりたわし**

「ひとちなか市の環境を良くする会」の会員になって顔見知りになっただ方から、家庭雑排水を優しい排水にするために、台所洗剤を使わない

**投稿をお待ちしています**

広報委員会では、会報を年3回(7, 11, 3月)発行する予定です。会報に、会員や市民の皆さんが普段感じたことや、実践しているエコや身近な自然などに関する記事を掲載したいと思います。投稿記事は、300字程度にまとめ、実名、連絡先を明記願いますが、記事署名はペンネーム、匿名を可とします。投稿は、郵便、Eメール、FAXで事務局まで

で「手づくりアクリルたわし」を試してみてもどうですか、といただいで使っていますけれど、思っていた以上に良く落ちます。

石鹸も、地球に優しい手づくり石鹸がありますよ、とお話もいただきました。洗濯洗剤についても知りたいと思っています。下水処理も浄水処理も地球に負荷をかけないようになしていきたいと思えます。

(環境を良くする会会員)



手作りのアクリルたわし

アクリルの毛糸を編むだけで簡単にできるそうです!

## 海岸クリーン運動に参加しました



平磯海岸での清掃の様子

市民憲章推進協議会が主催者となり、7月12日(日)に実施された「海岸クリーン運動」に環境を良くする会のメンバー84名も参加して、平磯海岸を清掃してきました。

自治会や環境部会、企業の方も一緒に朝早くから約2時間をかけて海岸や道路を歩いたところ、ペットボトルやビニール袋のほか、タイヤなどの不法投棄のごみや流木などが落ちていて、全部で2トン近くのごみを回収しました。

たくさんのごみを回収しました



### 環境シンポジウムを開催します!

ひたちなか市の環境を良くする会とひたちなか市では、**環境シンポジウム**を1月30日(土)に開催します。仕事がお休みのお父さん、お母さんも、ぜひ見に来てください。実際に活動している方々の発表なので、環境問題に関心のある方も、これから取り組みたい方にも参考になりますよ!

日時:平成22年1月30日(土)  
9:15~11:45

会場:ワークプラザ勝田多目的ホール

発表者:東石川小学校  
阿字ヶ浦中学校  
エコカレッジひたちなか  
地球大好きエコクラブ  
いばらきコープ生活協同組合

講評:原口 弥生 先生  
(茨城大学人文学部准教授)

参加費:無料  
問合せ:事務局

ごみを捨てるのも捨てるのも私たち人間です。一人ひとりの心がけだけで海岸や道路などのごみはなくなります。ごみはきちんと持ち帰って、みんなできれいな海岸、まちなしにしていきましょう!



### ~ 家庭でできる温暖化対策 10の取り組み ~

冬の省エネに向けて、できることから始めてみましょう!

- 1 暖房の温度を1 低く、冷房の温度を1 高く設定する
- 2 週2日車の運転をやめる
- 3 1日5分間のアイドリングストップを行う
- 4 機能上支障のない機器をコンセントから抜いておく(待機電力の削減)
- 5 シャワーを1日1分家族全員が減らす
- 6 風呂の残り湯を洗濯に使いまわす
- 7 ジャーの保温を止める
- 8 家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らす
- 9 買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜を選ぶ
- 10 テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす

出典:全国地球温暖化防止活動推進センター

### 会員を募集しています

本会では、会員を募集しています。市内に在住、通勤、通学している方なら誰でも入会できます。(個人又は家族)

また、市内で活動している団体、事業所も会員になれます。

・年会費(1口以上)  
個人・家族会員 1口 500円  
団体会員 1口1,000円  
事業所会員 1口2,000円

詳細は事務局まで

現在の会員総数 5,383名

今年も白鳥が飛来する季節となりました。その優雅な姿は、人をうつとりとさせ心を癒します。

さて、毎年の光景ですが、水面を泳ぐ白鳥に餌をあげる人々を見かけます。白鳥にとっては、自分で餌を探す必要もなく良質な餌が簡単に手に入るので、ありがたく思っていることでしょう。

ところで、私たちは、食物連鎖の中で生かされています。連鎖の一部が崩れると、ある種が絶滅したり特定の種が増え過ぎたりします。また、野生生物が本来持っている能力や生息環境に外力が加わると、生態系が壊れてしまうことがあります。

シベリアに帰った白鳥が、餌を捕ることを忘れ、人がくれる餌を待ちつづけ死んでしまったりしないかと思うのは杞憂でしょうか。

(F)

編集者だより